

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校における最大の課題は、児童数急増による狭隘化等の過大規模校問題である。児童数急増により、令和6年度西学舎が設置され、令和8年度は、児童数約 1520 人、61 学級(特別支援学級 13 含む)になる。

運動や健康・体力づくりをはじめとして、教育活動の様々な面で、例えば、運動場・図書室やプールは十分に利用できない状況にあるなど、物理的・時間的・空間的にも支障が出ている。令和6年度より西学舎が設置され、東西での教育活動を開始したことで利用状況については改善されてきている。

【安全・安心な教育の推進】に関して

① 学校生活についてのアンケートについて

校内調査(全学年)で、「学校はたのしい。」と回答した児童の割合は、これまで、90%以上を保っており、学年ごとの大差はない。しかし、最も肯定的な回答は、67%である。一方、不登校児童や教室に入りにくい児童が一定数いる。本校の不登校児童は、割合では、1.8%である。登校対応にあたっては、組織的な対応に努めてきた。区役所の不登校支援「ぷあぷ」や SSW やカウンセラー・こども相談センターとの連携など、不登校児童に対するきめ細かく柔軟な対応に努めている。

② 本校が取り組む自尊感情の向上について

校内調査(全学年)で「自分には、よいところがある。」と回答した児童は、90%を保っている。学年ごとの大差はない。しかし、最も肯定的な回答は、68%である。学級活動や道徳科の授業において、「自分のよさ」を発表することに難しさを感じる児童が一定数いるので、学級や学年、異学年交流等の時間で一人ひとりのよさを認め合っていく指導を継続的に行っていく指導が必要である。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】に関して

① 学力に関して

(全国学力・学習状況調査)

令和7年度は、国語科・算数科・理科とも全国平均より、国語科は 3.2 ポイント、算数科は6 ポイント、理科は 4.9 ポイント高かった。平均無回答率は、3教科とも全国平均より低く、問題に対して粘り強く取り組む姿勢がみられる。

(学力経年調査)

令和7年度は全ての学年・教科において大阪市平均を上回った。

令和7年度の学力経年調査の児童質問紙において「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」において、最も肯定的な「思う」と回答する児童は、3年 39.9%、4年 38.8%、5年 52.4%、6年 52.9%であり、学年でばらつきはみられるが、中学年から高学年に上がるにつれて、割合が上がっている。

② 「体力」に関して

全国体力・運動能力について、令和7年度の5年生では、男女とも、総合得点では全国平均を下回り、男女とも特にシャトルランが全国平均を大きく下回る結果となった。児童一人ひとりの運動量の確保と体力・運動能力の伸長が最大の課題である。児童の運動能力向上と運動の楽しさを味わわせることに重点を置き、体力・運動能力を伸ばす指導を工夫する必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】に関して

① ICT 活用に関して

令和7年度の校内アンケートにおいて、学習者用端末や電子黒板などを使った学習が「楽しい」「わかりやすい」「もっとしたい」と回答した児童の割合が約90%となっている。児童の高い意識を維持しつつ、学習者用端末の有効活用や持ち帰り学習について、さらに工夫する必要がある。

② 教職員の働き方改革に関して

本校の教職員において、時間外勤務が長時間になることが常態化している一面もある。「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1では、時間外勤務の上限を「月 45 時間」「年間 360 時間」としており、本校では週に1回ゆとりの日を設定するなど、時間を意識した働き方改革を推進していく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和11年末までに90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和11年末までに90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和11年度末までに全学年で70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和11年度末までに95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和11年度末までに70%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、令和11年度末までに年360時間を超えて実施する教員を10%以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。(前年度 88.7%)
- ・小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。(前年度 90.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 55%以上にする。(前年度アンケート項目なし)
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(前年度 87.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。(前年度アンケート項目なし)
- ・時間外勤務時間について、年 360 時間を超えて実施する教員を 20%以下にする。(前年度 24.5%)

(様式 2)

大阪市立堀江小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。（前年度 88.7%） ・小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。（前年度 90.1%）	

年度目標の達成に向けた取組内容・取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 児童が「学校に行くのは楽しい。」と思える学校づくりを行っていくために、様々な人やものとの出会いを通して、学校教育の充実を図る。 ----- 指標 ・社会見学やゲストティーチャーの派遣など、様々な人やものと出会う機会を各学年、年間 2 回以上行う。	
取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめの未然防止、早期発見・早期対応を基本にする。本校の「いじめ防止基本方針」に則り、全学級・全学年で、認め合い信頼関係のある集団を育成するため、学級指導や係活動などを意図的・計画的・継続的に行う。本校アンケート調査を実施し、その結果を分析し学級の人間関係の改善に取り組む。 ----- 指標 ・いじめ調査を年 3 回実施し、結果の集計と対応を記録する。 ・校内独自の教育活動アンケートを年 2 回実施し、分析結果をもとに対応を行う。 ・問題等が生じた際には、即応体制をとり教職員全体で共通理解し、解消に向けて組織的に取り組む。	
取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校の未然防止のために、低学年からきめ細やかな児童理解に努め、家庭環境の実態を把握する。不登校傾向にある児童の早期発見につなげ、専門機関と連係を図る。 ----- 指標 ・児童の欠席状況を把握し、週 3 日以上休む児童は、家庭訪問等を行う。 ・欠席調べを毎月作成し、継続的な対応を行う。	

取組内容④【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 道徳の時間を要として、教育活動全体を通して道徳教育に取り組む。人権教材を含めた年間指導計画と「道徳教育全体計画別葉」を見直し、実践を通して評価・改善する。 児童の自己肯定感を高めるため、授業の中で賞賛したり、友だちから認められる場を設けたりするとともに、児童自らが考え、議論できる場面を教育活動全体で積極的に取り入れる。 指標 ・道徳の交換授業を学年で各学期に１回以上行ったり、高学年では教科担任制を取り入れたりして、複数の教員の目で児童の育ちを見取り、指導に活かす。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】 【取組内容④】	
今後の改善点	
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】 【取組内容④】	

(様式2)

大阪市立堀江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。（昨年度アンケート項目なし） ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（前年度87.5%）	

年度目標の達成に向けた取組内容・取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 全学年で探究的な学習に取り組み、ICTを効果的に活用した研究授業を実施する。また、教員の実践的な研究を通して、授業力の向上に取り組む。	
指標 ・子どもたちの主体性を育むための研究を行い、各学年1回の研究授業を行う。 ・全教員が年1回は授業力の向上に関わる公開授業を行う。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 運動量確保のため、指導や場所の工夫、運動器具の整備充実を図ると共に、各学年で学級裁量等の時間を利用して運動する。 シナプスロジーに取り組み、児童の運動調整能力を高める。	
指標 ・運動の環境を学期に1回見直すことで、体力の向上につなげる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】 【取組内容②】	
今後の改善点	
【取組内容①】 【取組内容②】	

(様式 2)

大阪市立堀江小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。（昨年度アンケート項目なし） ・時間外勤務時間について、年 360 時間を超えて実施する教員を 20%以下にする。（前年度 24.5%）	

年度目標の達成に向けた取組内容・取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 学習者用端末を効果的に活用し、探究的な学習を実施する。	
指標 ・全学年で、週に 3 回以上、学習者用端末を効果的に活用する。	
取組内容②【基本的な方向 7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 本校の教育水準の維持・発展を図りながら、働き方改革に取り組み、長時間勤務を削減する。職員会議等の効率的な運用やスクールサポートスタッフやワークライフバランス支援員を活用し、教職員の働きやすい環境を整える。	
指標 ・毎週水曜日をノー残業デーに設定し、18 時までには退勤する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】 【取組内容②】	
今後の改善点	
【取組内容①】 【取組内容②】	